



# 住民参加型事業の実現を

町長＝自主性のある活動を支援

## 問

1億円を使った事業のアイデアを町民から募集し、計画・打合わせなどにも直接参加できる住民参加型の事業を実施してはどうか。

## 町長

新庁舎の落成を契機に、より一層町民が主役の地域社会を確立し、町民と行政が互いに協力しあうまちづくりに取り組むため、平成29年6月には、『みんなの力は地域の力、みんなで創る協働のまちづくり宣言』を行いました。

協働のまちづくりのため、今後も町政懇談会やパブリックコメントなどで町の政策形成に多くの町民が参画できるように、元氣の

る地域づくり支援事業などで、町民自らが自主性と主体性を持って計画的に取り組む活動を財政面から支援するなど、協働のまちづくりの礎を築くことが最優先だと考えています。

1億円を使った事業については、現段階では考えていません。

## 用語

### ※ チャレンジデー

年齢・性別を問わず、日常的なスポーツの習慣化や住民の健康増進、地域の活性化に向けたきつかけづくりを目的とした住民総参加型のスポーツイベントで、笹川スポーツ財団が主催。

毎年5月の最終水曜日に、人口規模がほぼ同じ自治体間で、午前0時から午後9時までに15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の数（参加率）を競うもので、南会津町は昨年度から参加している。

## チャレンジデーによるスポーツ習慣化を

町長＝事業の反省を踏まえ取り組み

## 問

5月30日のチャレンジデーで、本町は北海道の芦別市と対戦し、残念ながら負けました。

この事業への取り組みと今後の計画は。

## 町長

今年1月18日に実行委員会を立ち上げ、ポスターやのぼり旗の掲示、チャレンジデーの取り組みや参加方法な

どを解説する特設ブースを設置しました。

さらに、参加率アップに向け、関係団体への口コミ、新聞折り込み、チラシの各戸配布、フェイスブックや防災無線、広報車による広報などに取り組みました。今後、町民の健康づくりの意識を高め、生涯スポーツの推進を図り、反省点を踏まえ、町民の健康づくりや地域活性化に取り組んでいきます。



チャレンジデー当日に行われたファイナルイベントのようす  
(平成30年5月30日 田島地域)

その他の質問  
「福島健民カード事業」について